

「(仮称) 栗東市空家等対策計画 (案)」 「(仮称) 栗東市空家等対策条例 (案)」 に対する意見募集結果について

意見提出期間：平成 30 年 6 月 26 日火曜日から平成 30 年 7 月 25 日水曜日

意見の件数：1 件（1 人）

意見の内容

(仮称)栗東市空家等対策計画についての意見 1 件

意見の内容	意見件数	市の考え方
<p>タイトル</p> <p>空き家と栽培放棄田畑の組み合わせによる活用モデル事業を民間有志と協働で実施する。</p> <p>具体的な事業内容</p> <p>(1) 新しい農業労働者の創出を可能とする場の提供。参加者がワークシェアで自炊し寝泊まりしながら活動できる農作業研修施設として活用する。</p> <p>(2) 地域の先輩農業事業者や専門家の協力を得て技と智慧の伝承と活用</p> <p>(3) 一般農産物以外にも付加価値の高い地元特産品の創出</p>	1	<p>(仮称) 栗東市空家等対策計画 (案) P31 ステージ 3 の 4. 市民の暮らしやすさの向上や地域コミュニティの活性化に寄与する空家等の利活用の促進「空家等利活用モデル事業の実践」の具体的な事業 (案) として、貴重なご意見いただき、まことにありがとうございます。</p> <p>(仮称) 栗東市空家等対策計画 (案) では、「空家等利活用モデル事業の実践」を重点プロジェクトとして位置づけています。</p> <p>いただいたご意見は、利活用モデル事業の一つとして前向きに検討していきます。</p>

<p>方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業に参加する世話役と希望者を公募で募集する。</li> <li>② 具体的な事業計画を協働で立案する。</li> <li>③ 試験的に3年計画とし、2-3事業を実施する。</li> <li>④ その結果をみて更に有効な事業展開を行う。</li> </ul> <p>実施例（参考）</p> <p>約10年間農作業研修室としてスタートしたとろりん亭を拠点に、付加価値の高い自然薯に絞って10数名の会員と数名のサポーターで耕作放棄田（約15a）を活用し地元の特産品づくりを行っている。特に作業が集中する機関は、月に10日程合宿する仲間も含め通いの仲間と一緒に活動している。又、自然薯栽培を通して町おこし活動をしている仲間の支援も行っている。自然薯は昨年から栗東市のふるさと納税の記念品として特産品採用されている。</p>		
---	--	--